

社会教育研究部門

## 「教育と公共」研究部会（第6回）

日時：2019年9月13日（金）13:00～16:20

場所：野間教育研究所 2F 閲覧スペース

出席：田嶋一・浅井幸子・上野正道・狩野浩二・仲田康一・藤井佳世 各兼任研究員  
金沢千秋・川上智子

欠席：吉久知延所長

内容：（1）狩野浩二研究員の報告：文学研究における公共圏

- ◆ロバート・キャンベル氏講演で紹介された『蕉後鶏肋冊』（東条琴台）を手がかりに、江戸～明治時代の文化、教育と公共との関係を考える
  - ・『蕉後鶏肋冊』とは、東条琴台という儒学者が作ったスクラップブックのようなもの
  - ・東条琴台は、江戸時代末期に流行っていた書画会の中心人物、フィクサー。書画会とは、大広間に人々が集まって、書家や画家が、みんなの前で詩や絵などを即座に制作するイベント
  - ・誰にでも開かれた場、身分の差を超越し、自分達で決定する文化的な集まりであるところに「公共」「公共圏」を考える手がかりがある

（2）仲田康一研究員の報告：「新しい公共」概念についての整理

- ・「新しい公共円卓会議」の推移
  - ・「新しい公共宣言」（2010年6月4日）について
    - ①「新しい公共」とは
    - ②「新しい公共」づくりを推進する背景
    - ③「新しい公共」づくりの担い手：国民／企業／政府
    - ④新しい公共「イメージ」における教育分野の記述
  - ・「新しい公共」型学校の提案
- 
- ・今後の研究会と発表予定
    - 10月11日（田嶋研究員・上野研究員）
    - 11月8日（浅井・藤井研究員）
    - 12月13日
    - いずれも13時から